

仁淀川流域山林保全育成の会植樹事業

(主催：仁淀川流域山林保全育成の会)

令和7年11月9日（日）に、いの町中迫で、仁淀川流域山林保全育成の会主催の第18回植樹活動が行われました。この植樹事業は「山は川の生みの親」と題して、健全な山林保全及び育成を目的とし、水源かん養機能や保水力を高め、森から川に豊かな水が流れるようにすることで、アユを中心とする水棲動植物が豊かに繁殖する河川環境を作るために毎年行われています。

今年は総勢51名の参加者が、用意されたケヤキ200本、ヤマザクラ200本、イロハモミジ200本、イヌシデ100本、クマシデ100本の計800本の苗木を植樹しました。

当日は雨天で、泥にまみれながらの作業となりましたが、約1時間半で無事に800本の植樹を終えることができました。

参加された皆さま、お疲れ様でした！

※この植樹事業は、アサヒビールによる寄附金（仁淀川流域交流会議パートナーズ事業）と高知県森と緑の会の「緑の募金」（公募事業）を活用した仁淀川流域の清流保全活動です。

